

電腦援助

浅田英輔 Ver.12

Creativity

電腦にも臨床にも、創造性は大事。エライ先生のやり方をそのままやったって、なんの役にも立ちたくない。ネットに載ってるプログラムをそのまま使っても、それほど役に立ちたくない。既にあるものをどう使っていくか、どう工夫して自分のものにするかがとっても大事である。

この頃のご時世では、「すぐに役立つもの」を重視しすぎているように思う。これは人を育てることにはつながらないし、新しいものを生み出すためのトライアンドエラーを許容しない。「成功は失敗のもと」という言葉を崇めるわりには、失敗が許されない。こんなことを声高にいうと、「お前は失敗を許さないという失敗を犯したので許されない」なんてことも起こってしまう。

ある話を聞いた。

「職場で貸与されているパソコンは、個人のものではないのだから壁紙を変えるべきではない。与えられたままのwindowsの画面のままであるべきだ」という上司がいたらしい。

たしかに、言っていることは正論だと思う。壁紙を変えているヒマがあったら仕事しろと。この正論に返せる「何も間違っていないいっぺんの曇りもない正しい論理」は提示できない。

だが、非常にばかばかしい話だと思う。

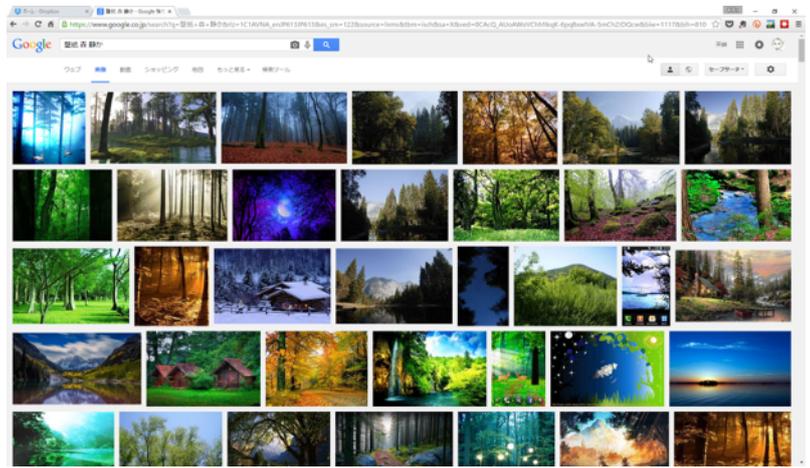
仕事にしろなんにしろ、「できあがったもの」は出来上がったものだけを作り出すものではない。人がやることは、「 $1+2+3+4=10$ 」ではなくて、「 $1+3+5+6-4+3=10$ あまり4」みたいなものだと思う。もしかしたら、「 $5+3+2+7=9$ あまり8」なんてことも起こっているだろう。できあげる過程で様々なものを作り出す。もちろん、同じことをするときには最小限の力で10にたどりつくことだってあるんだけど。

壁紙を変えること自体は仕事に関係ないといえば実際そうだし、壁紙を変えられない人が仕事できないというわけでもない。でも、大きな支障のないちょっとした遊び心って必要だよなって思う。

よし。
壁紙を変えてみましょうか。
今回は入れたばかりのWindows10
です。

まずは壁紙にする画像探しですね。
ここは無難に風景の写真だな。
ギラギラしたものは、森で、日
差しがあって、静かな雰囲気かな。

「壁紙 森 静か」で検索します。
今回は画像で検索ですね。いっぱいあって迷いますねー。

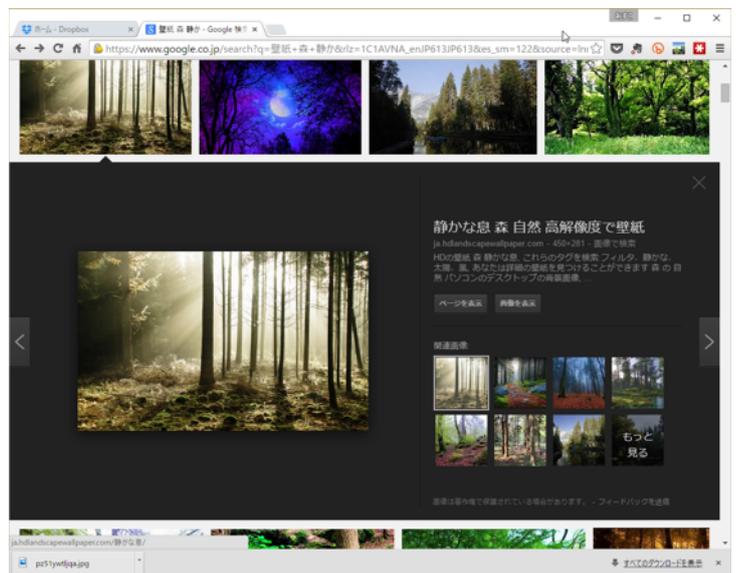


このちょっと寂しい感じも好きだなあ。
これにしてみようっと。
パソコンの背景画像だから、たぶん著作
権うんぬんは関係ないですね（私的利用な
のでだいじょうぶ）。

たいていの場合は、画像の上で右クリッ
クして「名前をつけて画像を保存」をすれ
ばいいです。

どこに保存すればいいかな。マイピク
チャーでいいかな。

保存したあとでまた画像を右クリックす
ると、「背景に設定」できますね。

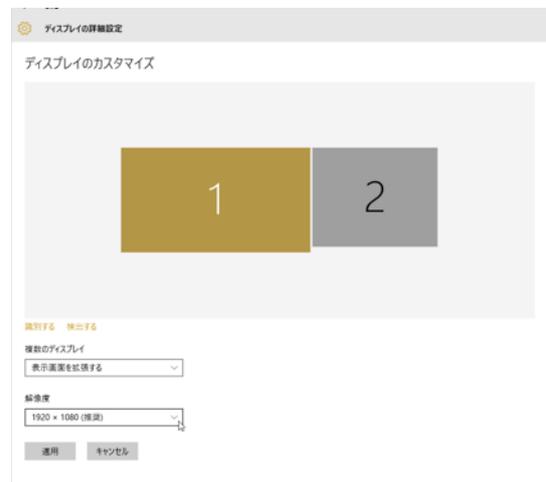
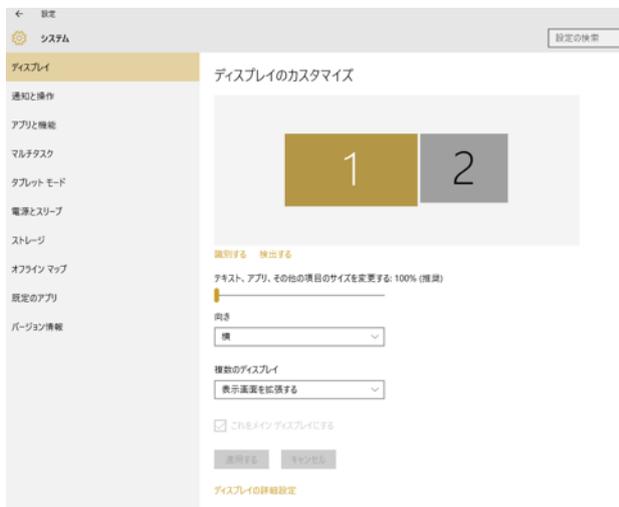


あれ？なんか画像が荒い・・・。画像サイズが関係あるのかな？
この画像は450×281って書いてます。



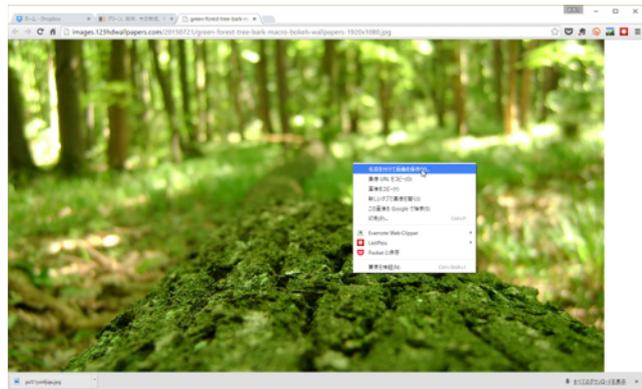
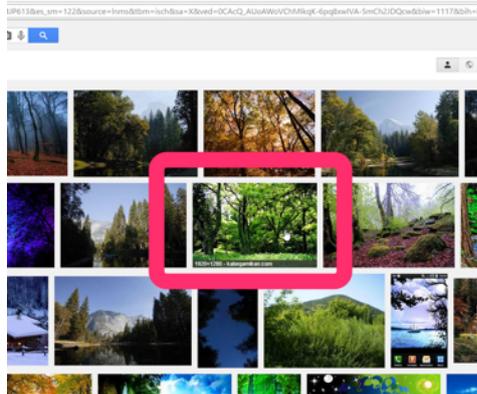
使ってるディスプレイの解像度
はどうやって調べるんだろうか。
デスクトップで右クリックすると、
「ディスプレイ設定」ってある。





ここで複数ディスプレイの設定もできますね。2枚ディスプレイがあるときは、1にだけ表示、2にだけ表示、複製と拡張ができるんだな（うちはディスプレイが2つあるので、「1」「2」と表示されています）。画面のサイズ変更もここでできるみたい。

画面の解像度は見当たらないから「詳細設定」かな？ありました。1920×1080だな。このサイズの壁紙を探してみます。



写真にカーソルを合わせると、下のほうにサイズが表示された。これにしてみよう。ダウンロードして、右クリックで設定っと。できた！

でもボケた感じが焦点が変になる気もしてきた・・・

こっちにしてみよう。なかなかいいじゃないですか！！



さっきの写真も捨てちゃうのもったいないな。スクリーンセーバーにしてみようかな。Windows10にしたばかりなので、設定の仕方がわからない。Googleに聞いてみましょう。いっぱいヒットしましたね。たぶんどれでも詳しくかいてあると思われます（いろいろなサイト名がヒットしたので、載せないでおきます）。

ロック画面にも設定できるみたいだし、フォルダの背景画像もできるみたい・・・

・・・なーんてことをしていると、いろいろいじってみたくなってくるのです。

仕事に直結はしないと思いますがね。でも、もしかしたら研修案内をつくるときに役立つかもしれない。ディスプレイサイズの見方もわかった。画像はとりあえずマイピクチャーに入れとけばいいというも学んだ。サイズの小さい画像は拡大すると荒くなってしまいうってのもわかった。自分でパソコンをいじれた気がしてうれしかった。

臨床心理学にしたって、「臨床心理士になるために、臨床心理にかかわる勉強だけをずっとしてきました」なんて人は、まず間違いなく臨床心理を仕事にするのには向かないだろう。「心理の仕事をするためにいろいろと学んできました」とはかなりニュアンスが違う。

人はそんなに簡単にできているものではないと思う。間違いもするし、寄り道もするし、遊びもするし仕事に関係のないものに興味を持つだろう。職業的技能に役に立つものもあるだろうし、役に立たないものもあるだろう。100の力を注ぎ込んで3しか「得」しないものもあるかもしれない。

一般的には少ない力で多くの利益が得られるものがよいだろう。それはそうだろう。ただ、目の前の利益が全てなのか。一見、何の役にも立たないものも「次はそれをしない」という「選択肢を狭めておく」といった役に立つことだってある。それをする事で、思いがけない発見があったりもする。

逆に、「100回試して10回うまくいく」くらいであれば十分なのではないかとも思う。残りの90回は今の目的には不要なものかもしれないが、次の目的にたくさん役立つものを含んでいる可能性もある。

その「残りの90回」は無駄なのか。たぶん、今の目的には役に立たないものだろう。なきゃなくていいし、10回うまくいくことだけが目的なのであれば、いらぬもの、無駄なものといえるだろう。

でも、仕事も人生も続く。10回うまくいって終わりなのであればそれでいいが、そのあとには「別の10回分」が待ち構えている。もちろん、別の10回が終わったあともまた別の10回が、また別の10回が、と続いていく。

ある一人のクライアントにしか通用しない「臨床心理学」なんていうものは、多くのクライアントの役には立たない。ただ、逆に「誰にでも使える臨床心理学」なんてのもたぶん無駄だろう。「なんにでも効く風邪薬」と同じたぐいのものだろう。



我々は、10あれば足りるところに50くらい費やして、「40いらなかったな」と思いながらも次の場面に役立てていこうとするのではないだろうか。いらなかった40は、本当にいらぬものなのだろうか。10必要なところに10だけ費やして、「とても効率的でよい」というものなのだろうか。

最初に戻ると、私が言いたいことは「壁紙くらい好きにさせろ」ってことではない。「壁紙はWindowsのままであるべきだ」というのは本当に、本当に、中学校の一部の校則と同じくらい意味がなく、管理することが目的なだけの物言いではない。「靴下は白でなければならない。」ということと全く一緒である。全部同じにしておくことが、人にとっていいことだと信じて疑わないのだ。そして同じ口で「みんな違ってみんないい」などと言うのだ。

人を管理するには、みんな同じにして、規則を決めて、それを守らない人を罰すれば良い。規則を守らないものを「悪いやつ」にするような雰囲気を作ればよい。余計なことはせず、言われたことだけやっていると指示する。掲げる目標はあくまでも「自分で考えられる人」「個性を大事にすること」などである。表面的には自由に見える面もあるかもしれないが、創造性は養われず、出る杭は打たれ、平均的な「言われたことをする集団」の出来上がりである。

道具を使うということは、「興味のある使い方から始まる」のだ。ほかの人がステキな壁紙にしていたら、「自分も好きなのにしてみたい」と思うのではないだろうか。「その写真、どこから手に入れたの？」と聞くかもしれない。「壁紙を変えるのってどうやるの？」って聞くかもしれない。使おうとした壁紙がうまくはまらなくて、「どのくらいの大きさがいいの？」って聞くかもしれない。そういう興味こそが、進歩につながる第一歩といえる。パソコンライ、なんていう人だって、好きなアニメを見るためにはいろいろ調べるかもしれない。仕事を効率的に進めるために、エクセルの使い方を調べるかもしれない。ステキな見た目の書類を作るのに、ワードの使い方を調べるかもしれない。そういうことの第一歩は、「こういうことはできるのだろうか」という興味だろう。

パソコンに興味のないベテランの女性が、一生懸命やり方を調べたり聞いたりして好きなアイドルの画像を壁紙にできたなら、多少なりともパソコンをいじるのが楽しくなるのではないだろうか。「調べたらできるんだ」って思えることは、仕事においてもとても大事なことと思う。

私は多少のパソコンのスキルがあるが、これだって失敗や無駄なことの積み重ねの上にあるものである。トラブルに対処できるということは、それだけ多くのトラブルに見舞われてきた、先人のトラブルを多く見てきたからなのである。どうせ失敗するなら、簡単な失敗から始めてみてはどうだろうか。

じゃあ、まずは、壁紙を変えてみよう！！

